

2026年4月3日

【SUPER FORMULA(全日本スーパーフォーミュラ選手権) 第1戦・第2戦 /モビリティリゾートもてぎ】

SUPER FORMULA がいよいよ開幕
ヨコハマタイヤは今シーズンも最速の戦いを足元から支える



2026年の全日本スーパーフォーミュラ選手権(SUPER FORMULA)も、いよいよ開幕を迎えました。例年、シーズンオフにオフィシャルテストを実施した鈴鹿サーキットで開幕することの多かったSUPER FORMULAですが、今年はモビリティリゾートもてぎに舞台を移すことに。桜がほころぶもてぎから、国内最速バトルがスタートします。

ヨコハマタイヤは2016年からSUPER FORMULAのオフィシャルタイヤサプライヤーとして、国内最高峰の戦いを足元から支えてきました。SUPER FORMULAを運営する株式会社日本レースプロモーションが推進する「SUPER FORMULA NEXT 50」に賛同し、2023年からは原材料の一部にサステナブル素材を活用したレーシングタイヤを供給。車両のパフォーマンスを発揮させる性能を維持しながら、当初は33%だった配合比率を、2025年には約46%まで高めることを実現しました。今シーズンの開幕に先立ち、2月にはSUPER FORMULAのオフィシャルタイヤパートナー契約を2030年まで延長することを発表。サステナブル素材の配合比率向上や走行性能の追求を主としたサステナビリティの深化と、SUPER FORMULAの更なる発展に向けた施策も実施することとなりました。



自動車レースの基本は、速さの勝負。決勝レースではその速さに加え、あらゆる状況に対応できる強さも求められますが、予選ではコース1周を誰よりも速く走った者が1番の称号を与えられます。今シーズンから、第3戦オートポリス大会、第8戦スポーツランドSUGO大会にて通常2回の予選を3回まで行い、その予選1位の選手を称える「SUPER POLE QUALIFYING Supported by YOKOHAMA」を実施、ヨコハマタイヤから賞典が贈られます。これは日本レースプロモーションとの共同施策で、1レースとなる大会でハイスピードの走行を少しでも多く見てもらおうという新しい取り組みです。第3戦、第8戦では予選の速さを「Q3」まで楽しんでください。

今シーズンは16チーム、24名のドライバーが集結。海外から勢いのある若手実力者の参戦も多く、さらにドライバーとともに戦うチームのスタッフやエンジニアの移籍も含めると大きく勢力図が変わる可能性を秘めています。その開幕戦は、これまでは猛暑の季節に行われていたもてぎが舞台。さらに、もてぎはこの春にコースの全路面舗装を改修したため、全く先の読めない戦いが予想されます。

ヨコハマタイヤは、様々な取り組みで国内モータースポーツの最高峰であるSUPER FORMULAの発展に力を注いでいきます。